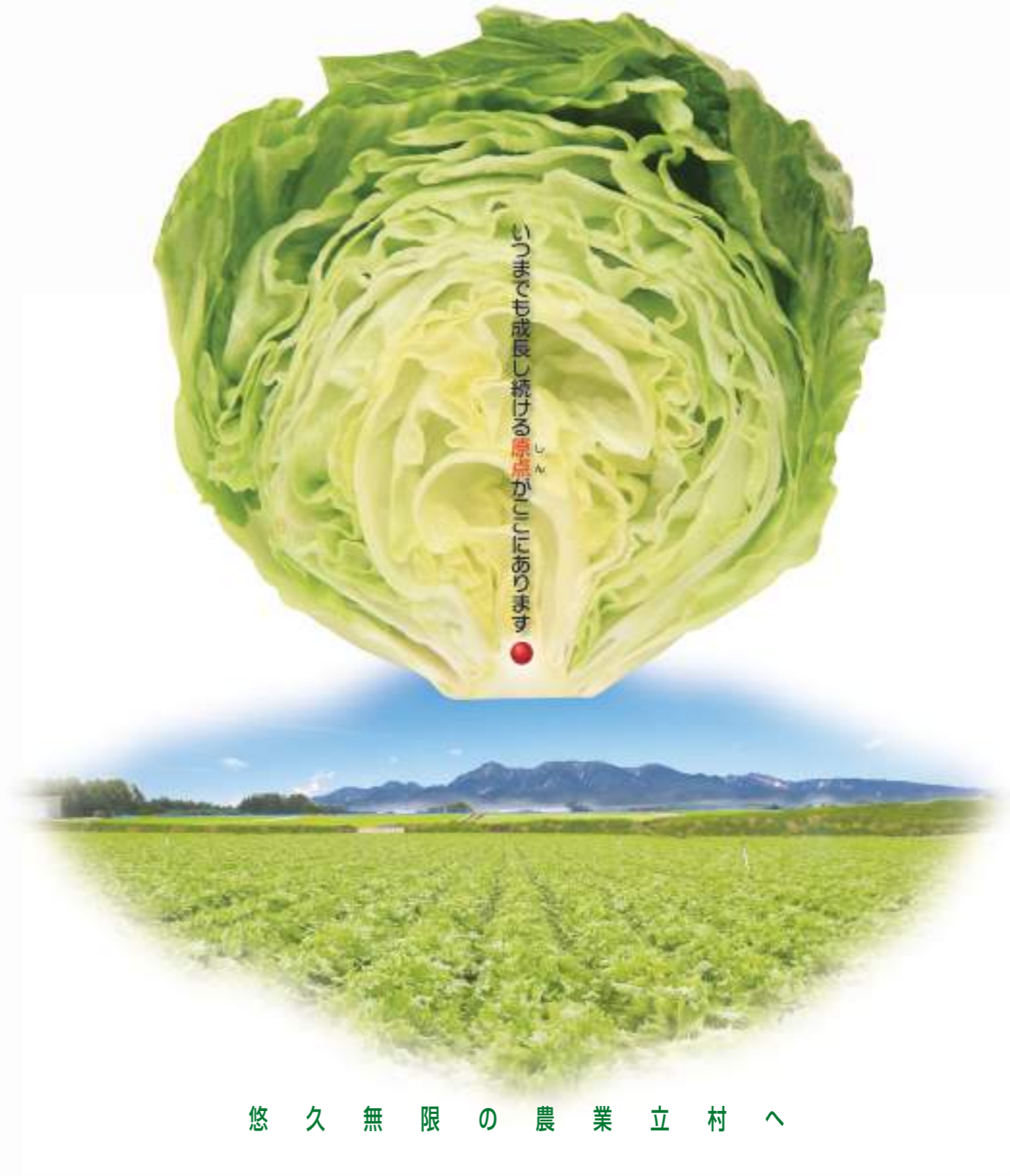




長野県南佐久郡川上村

●発行：長野県川上村役場  
〒384-1405 長野県南佐久郡川上村大字大深山525 TEL0267-97-2121

●発行日：平成29年3月  
●企画編集：企画課



悠久無限の農業立村へ

長野県  
2025  
川上村勢要覧

川上村は、長野県の最東部、2,000m級の山岳が連なる千曲川源流地域に位置します。新緑の春、レタス畑の広がる夏、カラマツの紅葉に包まれる秋、ウインタースポーツでにぎわう冬など、四季折々の楽しみ方ができる自然豊かな村です。

千曲川の源流から生まれる澄んだ水と空気、冷涼な気候が育てるさまざまな農産物、そして厳しくも優しい雄大な自然に培われた川上村の文化や生活が、今でも脈々と受け継がれています。

この素晴らしい村を未来に引き継ぐために山紫水明のこの川上村が目指すものは、元気で、優しい明るい村をつくることです。

この村勢要覧では、川上村の歴史から人まで様々な紹介をしています。ご覧いただき、川上村の新たな魅力を発見していただければ幸いです。

川上村長 ゆい はるひこ 由井 明彦

元気で優しい  
明るい村を  
めざして



C O N T E N T S

悠久の煌	2
農業を中心とした活気あふれるむらづくり	9
子育てにやさしいむらづくり	13
生活基盤の整った住みやすいむらづくり	18
誰もが安全・安心で快適に暮らせるむらづくり	22
衆議一決のむらづくり	26
水が生まれる郷〈観光〉	28
鼓動を伝える祭り〈歳時記・文化財〉	30
川上村名誉村民	32
川上村民憲章	33
歩んで136年	34
川上村の沿革	36

プロフィール

由井 明彦 (ゆい はるひこ)  
昭和22年5月15日生まれ。  
平成12年から平成19年まで助役・副村長を歴任  
令和2年2月27日川上村長に就任  
令和6年2月27日再任

KAWAKAMI

# 悠久の煌

私たちの郷土「川上村」は清らかな千曲川源流の大自然に恵まれ、  
働いた先人たちの英知とたゆまぬ努力によって育まれた村です。  
古代から人々がこの素晴らしい郷土に無限の愛着と誇りを持ち、  
その精神が現代へと受け継がれてきた川上村は、  
悠久の煌を放ち続けています。

湧き出する水を集め日本海へとそそぐ長き旅路の始まり

## 千曲川の源流

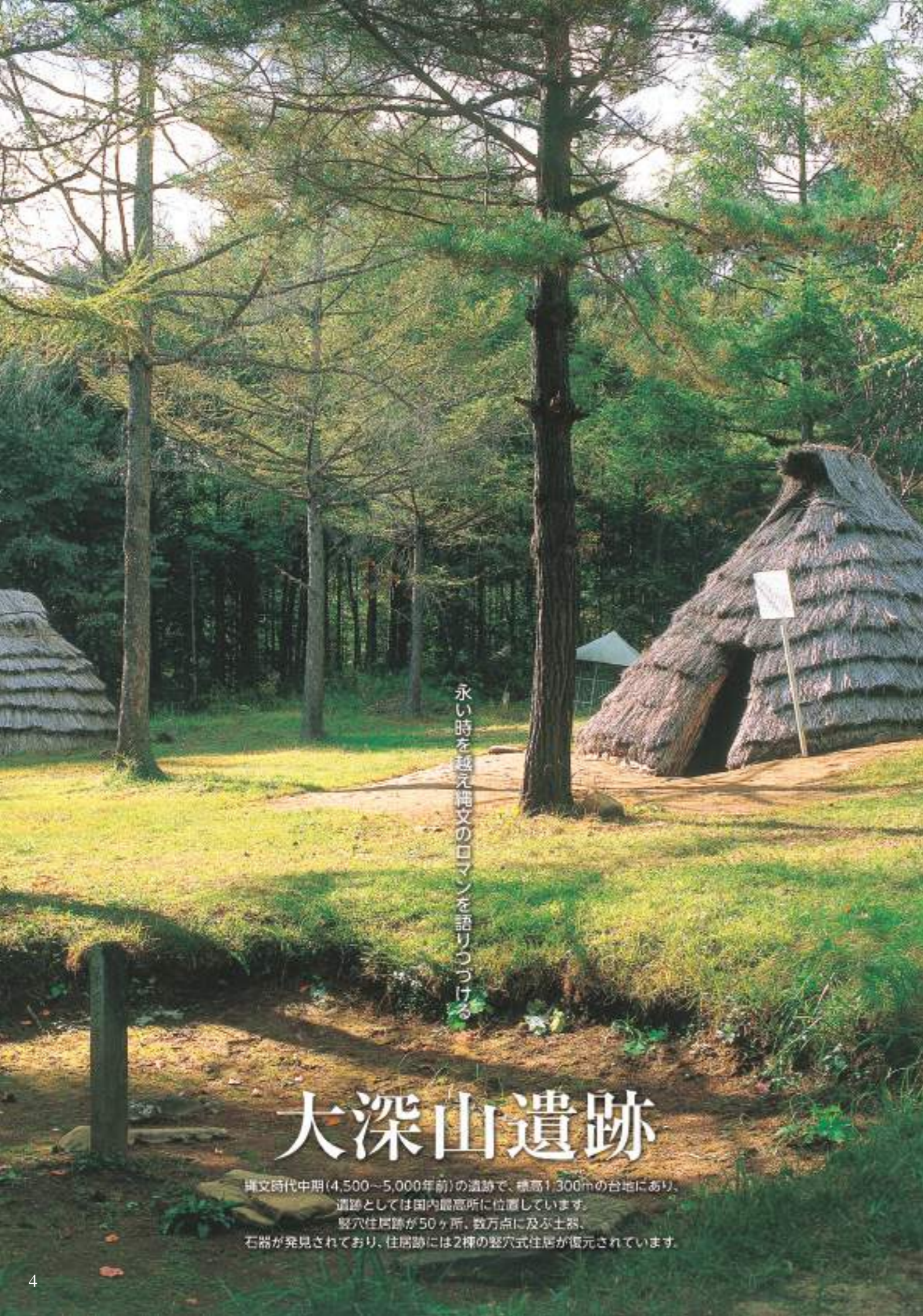
川上村を東西に貫流し、長野盆地で犀川と合流、  
新潟県に入り全長367km信濃川となる千曲川。  
甲武信ヶ島の山頂直下(標高2,160m)、細い流れの始まる  
ところに「千曲川・信濃川水源地標」が立っています。  
日本最長河川の源流は川上村にあります。



油井亀美也宇宙飛行士が無限の希望を馳せた

## 満天の星空

油井亀美也宇宙飛行士は少年時代、川上村の美しい星空を見上げ、  
宇宙への想いを馳せ、宇宙への憧れを抱いたと言われます。  
多くの希望を映し出す川上村の星空、  
先人たちの誇りと悠久の輝きがそこにあります。



永い時を越え縄文のロマンを語りつづける

# 大深山遺跡

縄文時代中期(4,500~5,000年前)の遺跡で、標高1,300mの台地にあり、遺跡としては国内最高所に位置しています。竪穴住居跡が50ヶ所、数万点に及ぶ土器、石器が発見されており、住居跡には2棟の竪穴式住居が復元されています。



村民の暮らしと共に生き、その純血種を守り続ける名犬

# 秘境の川上犬

川上村に伝わる純粋な日本犬。その昔、村の主産業であったカモシカ猟で活躍してきた猟犬で運動能力が高く、従順で勇猛。昭和58年、純血種の貴重さを認められ、長野県天然記念物に指定。

# そして、悠久無限の農業立村へ

川上村は長野県の東南端に位置し、かつては陸の孤島と呼ばれ、その厳しい気象条件から、島崎藤村の『千曲川のスケッチ』では「その辺は信州の中でも最も不便な、白米は唯病人に頂かせるほどの、貧しい、荒れた山奥の一つであるといふ。」と記されているほどの高冷寒村でありました。しかし、その厳しい気象条件を逆手に、先人たちの英知とたゆまぬ努力によって日本有数の高原野菜の産地として生まれ変わりました。その結果、村民の生活水準も向上し、基幹産業として大きく経済を支え、豊かな地域社会として自立することに成功しました。川上村にとって農業は村民の生活や文化と切り離すことができない存在です。住民生活の基本となる医療・福祉や、教育、インフラ整備などの推進とともに、今、農業を中心とした持続可能な「悠久無限の農業立村」に向けて歩み始めています。



# 農業を中心とした 活力あふれるむらづくり

## レタス生産量日本一の野菜王国

川上村は全国有数の高原野菜の産地です。標高1,100~1,500mの立地条件の活かし、特にレタスは日本一の生産量を誇ります。他の野菜とともに全国各地に供給され、確たる地位を築いています。



### 地域概要

川上村は、千曲川源流に広がる高原野菜の名産地。全村が標高1,100m以上の高所にあり、日本一の生産量を誇る夏レタスをはじめ、冷涼な気候を生かした多彩な高原野菜を栽培しています。生産から流通に至る一貫した品質管理体制のもと、新鮮で美味しい鮮度を保ったまま出荷されます。

### 生産取扱高

数多くの農産物を栽培している川上村でも、特に代表的な野菜がレタス。日本一の生産量を誇り、全国の市場に向けて鮮度のよい高品質なレタスを提供しています。

●野菜の総取扱高 (R6)

201億2,090万円

●レタス出荷量 (R6)

69,728t 日本一!!

### 地勢・気候

川上村は、晴天日が多く、降水量の少ない内陸性気候。高原の冷涼な気候と、昼夜の大きな寒暖差を生かした全国有数の高原野菜の産地で、30種類以上を数える野菜を栽培しています。

●標高 1,300m ●年間平均気温 8.5℃  
●作付面積 3,347ha



朝採り(午前4時)

### ◆川上村農業の沿革

かつて	長い間自給目的の主穀栽培が農業の中心であった。
明治初期	カラマツの育苗が行われ、県内・東北・北海道をはじめ、韓国・満州・ヨーロッパまで販路を広げた。
昭和 9 年	出荷用の白菜栽培を始める。
昭和 10 年	長野県の臨時産業法の指定を受け、白菜栽培が盛んになる。鉄道の開通を契機に栽培は発展し、県下有数の高原野菜産地に発展(このとき、白菜の多くは大阪へ出荷された。)
昭和 24 年	国のそ菜生産指定地とされ、肥料の特配を受け、次第に栽培面積が増加する。
昭和 25 年	レタスが試作導入される。
昭和 41 年	夏白菜が野菜指定地になる。
昭和 44 年	夏秋レタスが野菜指定地になる。
昭和 48 年	高冷地でありながら村ぐるみで大規模野菜産地に転換した業績を評価され、朝日新聞より自治体初となる朝日農業賞を受賞する。
昭和 60 年	川上村独自の野菜生産安定基金を創設。
平成 3 年	村内11か所の観測地点による「農業気象情報システム」が観測開始。取得データを営農に活用。
平成 7 年	「川上村農業用廃プラスチック適正処理推進協議会」を設立。農業用廃プラスチックの野焼きを禁止し、再利用等の適正処理を開始。
平成 9 年	残留農薬の自主検査を開始。
平成 11 年	新品種レタス「リバーグリーン」「サワーアップ」の開発。
平成 18 年	台湾へのレタス輸出開始。プロ野球に協賛し、都市部の消費者へ川上村レタスをPR。「麗多寿焼酎」の製造。
平成 20 年	香港への野菜輸出開始。
平成 27 年	沖縄県恩納村で「川上村レタス」を栽培する「シンカプロジェクト」の開始。
平成 29 年	ベトナムとの農業技術協力プロジェクトの開始



標高1,500mに広がる川端下ほ場



高原清浄野菜の収穫(穂沢)



全国に向けその日のうちに市場へ



採りたての鮮度を保持する保冷施設



レタスに次いで作付け面積が多いはくさい畑

# さらなる発展のしくみづくり 販路拡大や川上ブランド戦略など

気候変動、植物工場の台頭、食の多様化など、農業を取り巻く環境が変化する中、持続可能な農村を目指し、認定農業者の積極的な育成や生産基盤整備など、農業の体力強化を推進していきます。そして販路の拡大やブランド化、レタスの新種開発、高度農業情報を駆使した宮農など、未来を展望する新しい農業づくりに取り組んでいます。



いちごの栽培



川上そば畑



海外からの農業実習生

## CATVによる野菜市況



横浜ベイスターズベジタブルナイター



沖縄恩納村での生産



## CATVによる農業気象

品名	単価	単量	単位	単位	単価	単量	単位
レタス	1.4	5.0	kg	箱	7.0	5.0	kg
キャベツ	1.4	5.0	kg	箱	7.0	5.0	kg
ブロッコリー	1.4	5.0	kg	箱	7.0	5.0	kg
アスパラ	1.4	5.0	kg	箱	7.0	5.0	kg
ピーマン	1.4	5.0	kg	箱	7.0	5.0	kg
パプリカ	1.4	5.0	kg	箱	7.0	5.0	kg
ピーマン	1.4	5.0	kg	箱	7.0	5.0	kg
パプリカ	1.4	5.0	kg	箱	7.0	5.0	kg



## 情報化農業

現代の農業には情報収集が欠かせません。川上村ではCATVによる市況情報や技術情報が契機となって、情報を利用した農業経営が浸透しています。

## 農業経営戦略

レタスの輸出など川上村の高原野菜の販路の拡大や、消費者への広報活動など国内におけるブランド化のための施策を積極的に実施しています。

これまで、国内外の友好市町村との交流・連携の中で物産展の開催や情報交換などを行ってきましたが、今後も産地としてのイメージアップにつながる交流活動や関連産業との連携を通じた販路拡大に取り組みます。平成17年からレタスの海外輸出を開始し、川上村のレタスは安全でおいしい野菜として高い評価を得ています。

## 林業

川上村の総面積に対して88.7%が森林です。森林の有する多目的機能を総合的に発揮させるために「水土保全林」「森林と人との共生林」「資源の循環利用林」の3つの観点から、森林施策を実施し、多種多様な豊かな森林づくりを進めています。また、材木の新たな用途の開発や木質バイオマスのエネルギー利用など、木材の有効な利用方法についての研究も進んでいます。

## 商工業・サービス

村内には村民の生活に密着した商店が50店舗あり、顔なじみという利点を生かした心づくしの商業活動をすすめています。一方、観光振興と深く結びつけた特産品販売などの新たな取り組みも行われています。

農産物等直売所マルシェかわかみ





子育て支援センターでのイベント

# 子育てにやさしいむらじゅくり

## かわかみ保育園

平成28年4月にオープンした「かわかみ保育園」は、建築材に川上村のカラマツのほか、森林交流のある根羽村産のスギや大桑村産のヒノキを活用しており、木のおいや感触とともに、子どもたちの豊かな心が養われています。

周辺には、裸足で走り回ることができる天然芝の「村民グラウンド」、大きな遊具で自由に遊べる「レタ助ふれんどパーク」などがあり、保育や子育て支援の環境が整っています。

## 子育て支援センター「きらきら」

子育て支援センター「きらきら」は、かわかみ保育園に併設されています。

就園までの子どもと保護者を対象に、年齢を考慮した季節ごとのイベントを行っています。

また、専門の先生からアドバイスを受けることができる、助産師や心理士による講座や相談会も定期的で開催しています。



かわかみ保育園遊戯室



寒い日にも泳ぐことができる温室プール



子育て支援センターきらきら



隣接するレタ助ふれんどパーク



かわかみ保育園

## 安心の子育て支援

二つあった保育園が統合し「かわかみ保育園」が開園。子育て支援センター「きらきら」を併設し保育サービスの向上と交流・相談の拠点を整備。子育て世代が安心して出産し、子育てを楽しめる村づくりをさらに推進します。





油井亀美也宇宙飛行士が搭乗している国際宇宙ステーションと川上中学校の間で行われたリアルタイム交信イベント

### 学校教育

川上村には小学校2校、中学校1校があります。このうち中学校は平成20年に新校舎が完成。校舎は川上村の森林資源「天然から松」を使用し、周辺の環境に調和した開放的で親しみやすいデザインで、次世代に受け継ぐことができる長寿命の設計となっており、太陽光発電などのエコロジー対策も考慮しています。また地域の中心となる学校として、世代間の交流も図っています。

姉妹都市ワトソンビル市との交流や国際化、高度情報化に対応できる教育を進めています。また小規模校の特色を生かし、冬のスキー、スケートに力を注ぐほか、音楽、花壇づくり、食育、川上犬の飼育などの情操教育にも力を入れ、豊かな感性や優しさを育む教育が行われています。



川上第一小学校 田植え体験



川上第二小学校 ボルタリング体験



村の森林資源を活用した川上中学校



川上第二小学校 校庭スケートリンク



木の香りいっぱいの中学校の内装



夢の教室では児童、生徒一人ひとり「夢」を持つことの大切さを育てます



## 夢を育む川上の教育風土

幼い頃、ふるさとの煌めく星空を見上げ宇宙へのあこがれを胸に、夢を叶えた宇宙飛行士油井亀美也さん。朝暗い凍てつく寒さの中で鍛え抜き、強靱な心身と強い意志で五輪への夢をつかんだ中嶋敬春さん、山中大地さん。川上村はかつて陸の孤島と呼ばれ、荒れた山里の寒村でした。そんな中でも教育に対する想いは熱く、向学の志に燃え、粘り強い努力と逆境に立ち向かう精神で数多くの偉人を輩出してきました。川上の土地柄と風土は高い理想と夢を育む土壌があり、今日の教育の礎となっています。



全国中学校体育大会スケート大会 男子団体3連覇(平成25~27年度)



2014ソチオリンピックに出場した山中大地選手(川上村秋山出身)



### 公民館活動

川上村では公民館活動が盛んに行われており、生涯学習教室では、フラダンス教室やそば打ち教室など、多種多様な教室が開講されています。3月に開催される公民館まつりでは、各教室での成果が披露されます。

### 文化センター

平成7年に開館した文化センター図書館はすべての年齢層に対応する生涯学習の拠点としてサービスの拡充を図ってきました。最大500名収容可能なホールやハイビジョンシアタールーム、24時間利用できる貸し出しコーナー付きの図書館など、村民の文化的な生活に大きく寄与しています。

### スポーツ

健康で生き生きと生活を送るために、スポーツへの関心も高まっています。誰でも気軽に楽しめる軽スポーツの普及、マレットゴルフやソフトボールなどの各種大会を開催しています。

### 山菜まつり

毎年5月中旬に高登谷高原で山菜まつりが開催され、歌謡ショーや山菜・岩魚の味を楽しみに、村内外から大勢の観客が集まります。婦人会や青年会など模擬店も出店して祭りのムードを盛り上げ、本格的な農業シーズンを前に村全体が活気づきます。



総合体育祭



図書館まつり



人権を守り差別をなくす村民大会

毎年5月に開催される山菜まつり



**豊かに人生を創生**  
川上村ではいち早くふるさと創生活動を手がけ、文化の土壌づくりや活動の拠点「川上村文化センター」を生み出しました。この活動の場を軸に、川上村の伝統文化と交流から生まれ、村民が学び、楽しみ、絆を深め合うことができる新しい農村文化「川上郷育」を実践しています。

公民館まつり



うぐいすホール



公民館活動の展示



郷土資料展示室



# 生活基盤の整った 住みやすいむらづくり

## 交流と先進情報の村

村内の情報ネットワークをいち早く構築した川上村。田園マルチメディアモデル事業でさらなる高度情報化を推進させ、村内外の情勢や家庭で楽しめる地域に密着した情報、営農に役立つ情報をタイムリーに提供しています。また、村では交流事業が活発に行われています。特に、中学生の国際交流や、女性の海外研修では、ホームステイや交流会を通じ、相手国の生活や文化、歴史に触れ、多くの成果を得ています。この体験から得た共感、ふるさとを見直し、村を活性化させる大きな原動力となっています。

川上村親善大使第1号である日本サッカー協会初代チェアマンの川淵三郎氏と前藤原忠彦村長（平成25年1月9日）

友好都市沖縄県恩納村との調印式（平成29年2月3日）



### 交流

川上村は友好都市沖縄県恩納村との交流、姉妹都市アメリカ合衆国ワトソンビル市との中学生のホームステイでの相互交流のほか、東京都町田市、武蔵野市、三鷹市、埼玉県蕨市の保健休養施設を有し、小学生をはじめ多くの市民との交流が行われています。「甲武信源流サミット」は秩父多摩甲斐国立公園の区域及び、水源を共有する川上村、秩父市、山梨市とが連携し、命の水や空気を育む地域の連合体として、独自の活動を行っています。

### 公共交通

村内には公共交通機関としてJR小海線と村営バスがあります。村営バスはお年寄りや学生など、住民の足として集落を結び、小海線「信濃川上駅」に接続しています。JR小海線は佐久方面、山梨方面への公共交通手段となっています。長野（北陸）新幹線の開業以来、佐久平駅への乗り継ぎ線である小海線は、観光面でも重要な役割を果たしています。

### 情報通信

川上村は昭和63年に全国に先駆けてCATV（川上村ケーブルビジョン）を取り入れた情報先進の村です。野菜市況速報、農業気象情報、村議会議中継など村民向けの様々な情報を発信し、生活に密着したメディアとして役立っています。また、庁内の電子自治体化を進め、住民情報システムの一元化を図るとともに、セキュリティ対策の強化に取り組んでいます。



村営バス



村内の女性による海外研修



ハイブリッド車輛（JR小海線）



川上村夏まつり



友好都市との小学生交流会

姉妹都市ワトソンビル市との中学生相互交流

生活基盤の整った住みやすいむらづくり ● 交流、公共交通、情報通信





朝日岳から金峰山を望む

金峰山は「奥秩父の盟主」「山の中の山、百貫の貴祿を持つ」などと形容される山で、古くから修験道の場、信仰の山でした。奥秩父の山々は、そのほとんどが山頂まで深い原生林に覆われており、奥秩父らしい深い樹林や岩稜、高山植物、360°の展望と変化に富んだ登山が楽しめます。山頂に屹立する五丈岩(ごじょういわ)は山のシンボルです。

## ふる里の自然はかけがえのない財産。 豊かな自然を維持し住みよい循環型社会へ。

秩父多摩甲斐国立公園に指定され、金峰山、甲武信ヶ岳など関東山地の主峰が連なり、高山、亜高山帯の森林の一部は、特別地域として保護されています。  
この美しい郷を守り、未来へと受け継いでいくために、自然環境保護と自然との共生意識を深め、より安全で安心な住み良い地域の形成に務めています。

### 道路

川上村の基幹産業の高原野菜出荷量の増大、交流圏の拡大に伴い、交通網の整備が進んでいます。「ふるさと農道」が平成16年、「千曲川左岸道路」が令和6年に開通し、住民の利便性の向上、流通形態の向上につながっています。

### 森林保全

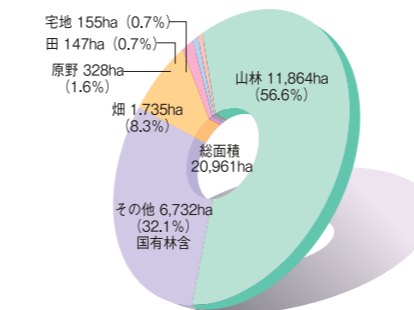
川上村では60年以上にわたり毎年植樹祭を行ってきました。

先人たちから受け継がれてきた森を継続して守り育て、その大切さを普及啓発するとともに、豊かな森林資源を後世へとつなげていきます。

### 自然保護

地球温暖化対策が世界的規模で緊急課題となっている中、川上村では3R活動「Reduce(排出の抑制)・Reuse(再利用)・Recycle(再利用)」への理解と実践を推進しています。将来に村の豊かな自然を守り引き継ぐためにCo2吸収源である森林整備、循環型社会づくりに取り組んでいます。

### ■地目別面積



資料:「平成27年  
土地に関する概要調査」



野菜畑とふるさと農道

夏の高原野菜出荷シーズンにはトラクターや大型トレーラーをはじめ、多くの車輛が行き交います。



ふれあいの森キャンプ場広場



植樹祭



あちばげダム



幹線道路沿いは、自然に調和するよう景観に配慮。訪れる人や住民にはなごむ川上を印象づけています。

四方を山に囲まれ、村内の中央部を千曲川が貫流する。

誰もが安全・安心で  
快適に暮らせるむらづくり



農繁期には野菜集荷場に出張して行われる健康検診

### 保健

川上村では、村内で集団健康検診を実施するほか、人間ドック受診料の助成を行い、生活習慣病などの予防や早期発見、早期治療へとつなげています。

また、厳寒な冬期間の運動不足解消のため、「ヘルシーパークかわかみ」では、トレーニング機器を充実させ、体力の維持や向上、生活習慣病予防に役立っています。

### 医療

国民健康保険直営診療所は、医療機関の少ない地域の初期医療機関として重要な役割を果たしています。また、平成24年度には機能強化型の在宅支援診療所に指定されました。これにより、高齢者ができる限り住み慣れた地域で療養しながら生活ができるようになりました。

### 高齢者・障がい者の福祉介護

65歳以上の高齢人口割合が高まる中、川上村では高齢者も健康でいきいきと暮らすために、体力の増進や介護予防、社会参加の推進を図っています。

介護を必要とする方に対して、ヘルシーパークかわかみを拠点に、通所介護、訪問介護、訪問看護など介護サービスを提供しています。



生きがいふれあいセンターでの体操風景

トレーニングルーム



ヘルシーの湯



鍼灸施術室

元気で明るい川上村のお年寄り

## 総合健康福祉基地 ヘルシーパークかわかみ

保健・福祉・医療の一元化をはかり長寿社会に対応できる施設、総合健康福祉基地「ヘルシーパーク中央棟」。高齢化社会・高福祉社会に対応する介護支援・福祉の推進拠点として、また、村民の健康づくりの拠点として利用されています。

ヘルシーパークかわかみ  
診療所、デイサービスセンター、中央棟を一本の廊下で直結。老人憩いの家、屋内ゲートボール場を併設し、近くの藤塚四季の丘公園、佐久広域連合南部消防署川上分遣所を加え「ヘルシーパークかわかみ」を構成しています。





## 全国消防操法大会準優勝 村の安全安心を力強く支えます

全国的に消防団員が不足傾向にある中、川上村では約270名の団員を確保。人口に占める消防団員の割合は7%と高い数字になっています。このような中、日頃の訓練の成果を発揮し、全国消防操法大会において準優勝。災害から村民のかけがえのない生命や財産を力強く守っています。

### 消防・防災

地域防災は公的機関や地域の連携を中心に、相互扶助の体制を構築しています。消防機関は佐久広域による常備消防と、村内8分団で構成される消防団がバックアップしています。近年全国的に消防団員が不足傾向にある中、川上村では団員の平均年齢が30歳、人口に占める消防団員の割合は7%と、県下最強の陣容を誇っています。

また台風や集中豪雨などの風水害に対しては危険箇所の住民周知、排水路の清掃といった事前対応のほか、緊急時に対応する防災行政無線を整備し、防災体制を強化しています。その他地震災害時の緊急配備の対策も近隣市町村と連携をとり相互応援体制を整備しています。

### 交通安全

川上村は夏季には野菜搬送用のトラックや観光客の自動車など県外車の流入が増加します。冬季には路面の凍結もあるなど本村独特の交通事情を抱えています。このような中、交通安全協会を中心に家庭、学校、事業所等地域ぐるみで交通安全運動に取り組んでいます。また、シートベルト着用指導や、交通安全講習会を定期的に行い、交通死亡事故ゼロをめざしています。



交通安全指導



出初式

消防関係者が一堂に会し、厳正な規律のもとで村民の火災予防意識の向上を図ります。



小学校消火訓練



防災行政無線

村内各戸に設置される受信機を介して防災情報や行政情報を速やかに伝えています。



小学校避難訓練



被災地支援活動



平成28年度全国消防操法大会において大深山分団が出演し、見事準優勝に輝きました。

誰もが安全・安心で快適に暮らせるむらづくり ● 消防・防災、交通安全

# 衆議一決の村づくり

住民と行政の協働による村づくりをすすめます



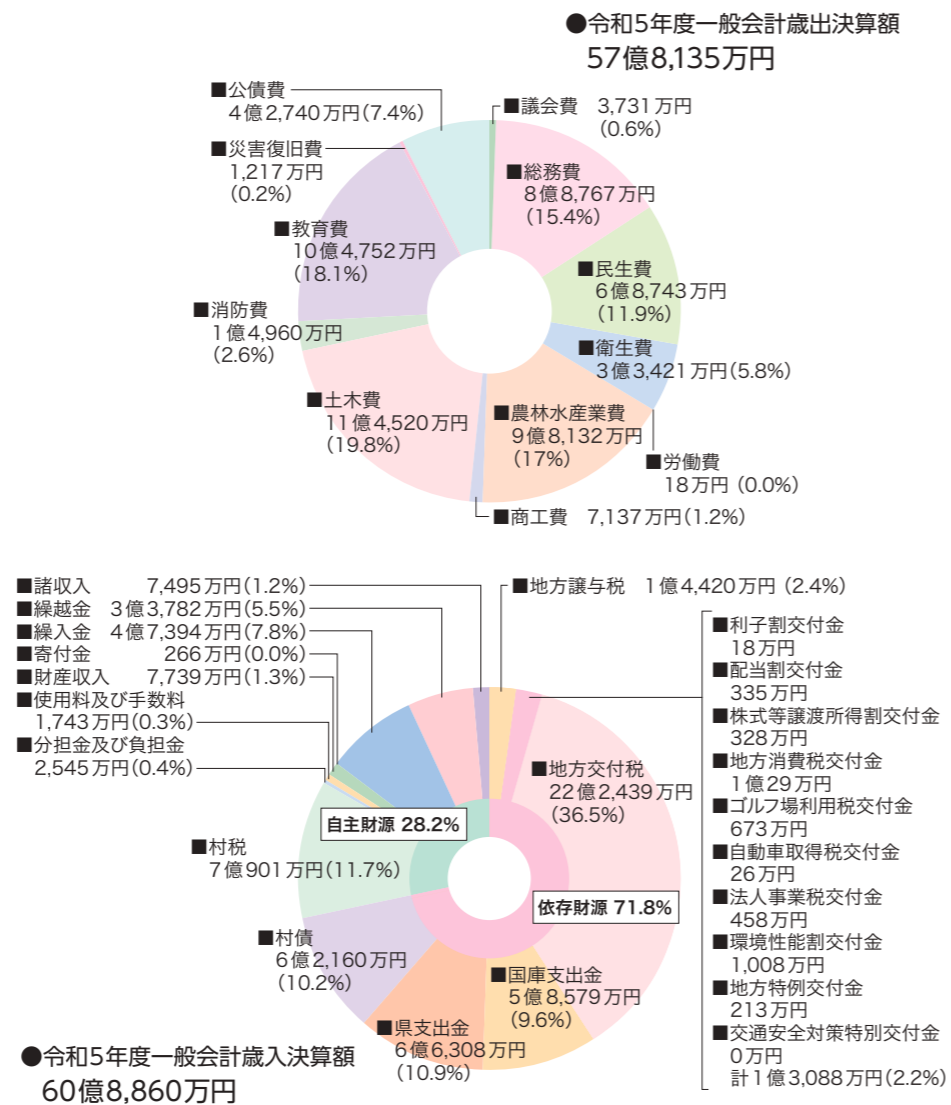
左から中嶋昌哉副村長、由井明彦村長、藤原克朗教育長

## 効率的・効果的な行財政運営

川上村では「豊かさの湧き出る源流の里づくり」を基本理念に、自主的で創造性のある行政運営を展開しています。

長期的なビジョンに立ち、「総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をはじめとする各種計画との整合性を保ちながら、村民と共に歩む効率的な行政運営に努めています。

## 行財政



## 親しみと信頼で結ばれる議会運営

村議会は、村政の意志決定機関として、村民より選ばれた10名の議員で構成されています。議会で決定すべき課題に対し、より徹底した審査をするために、総務、社会文教、経済の3つの委員会と議会運営委員会が設けられており、年4回の定例会(3月・6月・9月・12月)と臨時会が開かれています。議会の一般質問は村のCATVや広報で開示しています。

### 村議会議員名簿(議席順)

議席	氏名	住所
1	中嶋 治樹	大深山
2	川上 真人	梓山
3	古原 和哉	居倉
4	渡邊 亜子	原
5	渡邊 正	原
6	井出 光	秋山
7	由井 基治	御所平
8	林 克比古	秋山
9	大西たま子	御所平
10	由井 秀樹	御所平



由井 秀樹 川上村議会議員



由井 基治 川上村議会副議長

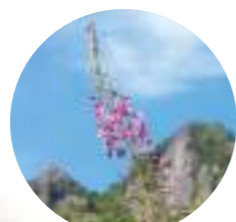
住民の意見・要望を把握し、村民のための村づくりを推進します

# 村民の声を行政に

## 議会

村議会





ヤナギラン



フレモコウ



ヤマツツジ



クリンソウ

### 十字峠のシャクナゲ

日本百名山の一つである甲武信ヶ岳の登山コースにもなっている十字峠。登山道に沿って、シャクナゲが途切れることなく咲き誇っています。

### 甲武信ヶ岳

毛木場から千曲川の水源をたどり、登山道を登ると、千曲川・信濃川水源地標があります。そこから約1時間さらに登ると、富士山の展望が美しい標高2,475mの甲武信ヶ岳山頂が開けます。



千曲川源流

川上村を東西に貫流し、長野盆地で犀川と合流、新潟県に入り信濃川と名を変え日本海にそそぐ千曲川。甲武信ヶ岳の山頂直下、細い流れの始まるところに「千曲川・信濃川水源地標」が立っています。その長き旅は川上村から始まります。真夏でも身をさるような冷水に、イワナヤマメなどが棲息しています。



金峰山

標高2,599mの山頂付近には、大きな積み木を重ねたような花崗岩の五丈岩があります。360°の眺望が見事で、八ヶ岳、北・中央・南アルプス、富士山などを望むことができます。



# 水が生まれる

甲武信ヶ岳に降る雨は山頂でふたつに分かれ、やがて湧水を集め高原を潤す。山々では木々が緑の葉を茂らせ、可憐な高山植物や苔むした原生林もイキイキと鼓動を刻みます。

# 郷



村営金峰山荘

村営金峰山荘は金峰山の麓にあり、全館天然から松造りの建物です。周辺は川上村の豊かな自然に囲まれハイキングやバードウォッチング、自然観察に良い環境です。全16室収容人数64人、60畳の大広間も完備で、合宿などにも最適な環境です。



廻り目平キャンプ場

廻り目平キャンプ場は金峰山荘に隣接しています。貸しテント、バンガロー、シャワー、水洗トイレの設備がありアウトドアライフを満喫できます。屋根岩、小川山、金峰山への登山や釣り、ハイキングが楽しめる本格的なキャンプ場として、県内外の人たちで賑わいます。



溪流釣り

川上村は溪流釣りの解禁が早く、2月中旬頃から岩魚釣りが楽しめます。

### ロッククライミング

小川山は「日本のヨセミテ」とも言われ、海外からも注目されています。



金峰ふれあいの森

標高1,500m、金峰山麓に広がる白樺林の中にある森林公園です。遊歩道が整備され、バードウォッチングや植物観察などが楽しめます。キャンプ場、ログキャビン、バーベキューハウスや、テニスコート、フィールドアスレチックがあります。





### 諏訪神社御柱祭

木遣りも華々しく、勇壮な大祭、居倉・秋山の御柱祭。7年に1度のこの大祭は村民総出の諏訪神社の伝統行事で、喇叭隊や仮装行列が里曳きを盛り上げます。

### おかたぶち・子ぶち

無病息災、子孫繁栄を祈って、毎年1月14日に行われる道祖神まつりの1つ。お嫁さんと介添えの人が表へ向かって座り、そのまわりを子どもたちがお払いをしながら3回廻り、最後にお膳をいただいて帰ります。お方とは、お嫁さんに対する最高の敬称です。



道祖神獅子舞



### 住吉神社浦安の舞

「うら」は心を指す古語で、「うらやす」で心中の平穩を表す語であるとされます。また、日本書紀に「昔伊弉諾尊目此国曰。日本者浦安国。」とあり、他の文献にも日本国の異号として「浦安国」とあることから、神祇の安寧慰撫と国の平穩無事が、題名である「浦安」の語に込められています。浦安の舞は舞姫(巫女)によって舞われる女舞で、正式は四人舞です。舞は前半の扇舞と後半の鈴舞とがあります。

## 歳時記

- [1月]**  
年始廻り(元旦)、仕事始め(2日)、おせち(2日)、お棚さがし(4日)、寺院の年始(4日)、若木切り(6日)、七草(7日)、門松送り(7日)、ほんだればやし(11日)、万穂物作り(14日)、粥かき棒と小豆粥(15日)  
道祖神まつり ●松引き ●小屋づくり ●紙集めとおんべきり ●木集めとおんべ建て ●おかりやつくり ●獅子舞 ●どんど焼き ●御幣きり ●道祖神の御年始(12日~14日) ●おかたぶち(14日・原)、山ノ神(17日)、二十日正月(20日)、初恵比寿(20日)
- [2月]**  
節分(3日) ●豆まき ●焼きこがし、初午(8日) ●ねじくみ ●御幣倒し、天神まち(25日)、針供養(8日)、二十三夜待ち(23日)御岳祭(28日・川端下)、観音様(19日・御所平)、山ノ神(17日)
- [3月]**  
ヤシウマ(15日)、山ノ神(17日)、十九夜念仏(19日)
- [4月]**  
ひなまつり(3日)、うしんべかなんべ(3日)、産泰神社祭礼(4日・御所平)、御霊祭(15日・御所平)、山ノ神(17日)、氏神様の春まつり、馬頭観音まつり(居倉)、下四集落春まつり(30日)
- [5月]**  
藤塚稲荷例祭(1日・原)、上の原観音縁日(1日・原)、御柱祭(初旬・秋山、居倉)、花まつり(8日)、金峰山神社春例祭(7日・梓山、秋山)、山ノ神(17日)
- [6月]**  
川端下八幡様例祭(1日)、端午の節句(5日)、山ノ神(17日)
- [7月]**  
金峰山神社祇園祭り(20日・居倉)、明神様(25日・御所平)、土用丑の日、山ノ神(17日)
- [8月]**  
墓参り(1日・5日・7日)、お盆(13日~16日) ●迎え火 ●どんどん火(13日・16日・梓山) ●送り火(16日) ●寺参りと施餓鬼(16日)、大日様祭(13日~14日)
- [9月]**  
八朔の節句(1日)、十五夜(15日)、彼岸、姫宮祭(19日・秋山)、山ノ神(17日)
- [10月]**  
籠く様のお祭り(9日・大深山)、十三夜よび(13日)、山ノ神(17日)、梓山金毘羅様の祭り(18日・秋山、梓山)、氏神祭り(20日・居倉、川端下)、下四集落秋祭り(30日)、上の原観音様祭り(31日)
- [11月]**  
十日夜、山ノ神(17日)、恵比寿講(20日)
- [12月]**  
山ノ神(17日)、冬至、年迎え ●松迎え ●注連縄ない ●すす掃き ●餅つき ●松飾り ●年取り

# 鼓動を伝える

川上村には、伝統的な風習や年中行事、民族芸能が受け継がれています。祭りの鮮やかさが観る者の五感を揺り動かし、人々は着飾り、踊り、高揚感に酔いしれます。静かな川上村が姿を変え、華となる瞬間です。

# 祭



## 文化財

伝統と文化を守り伝える



### 大深山遺跡

村内には57ヶ所にのぼる旧石器時代から平安時代までの遺跡があります。その中でも縄文時代中期(4500~5000年前)の遺跡で、標高1300mの台地にあり、遺跡としては最高所に位置しています。竪穴住居跡が50ヶ所、数万点に及ぶ土器、石器が発見され、住居跡には2棟の住居が復元されています。出土品は文化センターで展示保存しています。



### 金峰山神社の幟(有形文化財)

金の幟1本(1759年奉納)、銀の幟2本(1752年・1765年奉納)があり、西陣織で菊花紋やボタン模様が配され、銀糸や金箔が使われています。長さ約3m・幅約60cm。秋山、川端下の長尾には金山があり、戦国時代から江戸時代に開発がなされ、その繁栄をしのばせる。又、「梓千軒」[川端下千軒]の伝承も今に残ります。



### 大日如来像(有形文化財)

永禄年間に作成されたといわれる木造彫刻で、全体に彩色されていましたが、現在は剥落しています。この像は童顔で隣に高さ28cmの姥像があり、母子像として親しまれ、お産や子育ての信仰となっています。座位高138cm・幅105cm(川端下)

### 川上村の文化財一覧

国指定史跡/大深山遺跡  
県指定天然記念物/川上犬、ヒメバラモミ  
村指定文化財/湿地性植物群生地(桶沢)、アズサバラモミ(梓山)、ナラの原生林(居倉・小川)、モミ(原・中原)、カラマツ(原・一命大神境内)、住吉神社樹林叢取(原・御所平・住吉神社)、龍昌寺のスギの木(御所平・龍昌寺境内)、ネズミサシの生け垣(御所平・龍昌寺境内)、ヒメコマツ(桶沢・伊勢社境内)、石梨(桶沢・半分沢)、一里観音菩薩(梓沢・横道)、鰐口(川端下・金峰山神社)、金・銀・銅の幟(川端下・金峰山神社)、高礼場跡(川端下)、柏垂遺跡(御所平)等

ふる里の美しい夜空を見上げ、はるかな宇宙への夢を追い求めた少年。今、夢を叶えて宇宙へ。

## 郷土が生んだ宇宙飛行士



ゆい きみ や  
油井 亀美也 氏

油井宇宙飛行士は、国際宇宙ステーション (ISS) 第44次/第45次長期滞在クルーとして、日本時間2015年7月23日から2015年12月11日までISSに142日間滞在了ました。日本人宇宙飛行士として初めて宇宙ステーション補給機「こうのとりのキャプチャ(把持)」を遂行し、ミッションを成功に導きました。この成功は、我が国がこれまでに積み上げてきた有人宇宙開発のプレゼンスをさらに押し上げることとなりました。

また、多忙な業務の合間をぬい、教育活動や、宇宙活動の普及活動にも力を入れました。Twitterでのリアルタイムな情報発信のほか、地上との映像やアマチュア無線を使用した交信イベントなどを通して、ISSでの業務、実験、生活などを紹介しました。

### プロフィール

川上第二小学校—川上中学校を卒業後、県立野沢北高校へと進学。平成4年3月に防衛大学校を卒業の後、航空自衛隊に入隊。F-15戦闘機のパイロットとして飛行任務に従事したほか、テストパイロットとしても活躍。2009年2月、宇宙航空研究開発機構(JAXA)第31期宇宙飛行士候補に選ばれる。自衛官出身の初の宇宙飛行士候補となる。2011年7月、基礎訓練が終了しJAXA宇宙飛行士として認定される。2012年10月、ISS第44次/第45次長期滞在員に任命される。2015年7月、ソユーズ宇宙船で打ち上げられ、約5ヶ月滞在。その間、日本の実験棟「きぼう」にて科学実験やステーションの運用に携わった。2023年6月、2025年頃の滞中でISS長期滞在搭乗員として指名される。

川上村名誉村民第1号の授与  
(平成28年3月19日)



誇りと希望に満ちて……

## 郷土を愛し

- 一、先人の労をしのび、創造性と文化に富んだ村をつくります。
- 二、人とのふれあいを大切にし、心豊かで平和な村をつくります。
- 三、産業をおこし、活力ある村をつくりま
- 四、勤労を尊び、健康で希望にみちた明るい村をつくります。
- 五、自然を愛し、美しく住みよい村をつくり
- 六、自然を愛し、美しく住みよい村をつくり
- 七、自然を愛し、美しく住みよい村をつくり
- 八、自然を愛し、美しく住みよい村をつくり
- 九、自然を愛し、美しく住みよい村をつくり
- 十、自然を愛し、美しく住みよい村をつくり

昭和六十三年十二月二十日制定  
川上村

### 村民憲章

私たちの郷土川上は、清らかな千曲川源流の大自然にめぐまれ、優れた先人たちの英知とたゆまぬ努力によって育まれた村です。私たちはこの素晴らしい郷土に無限の愛着と高き誇りを持ち、更に住みよい希望にみちた新しいふるさとづくりとその発展をめざしてこの憲章を定めます。

### 川上の歌

■作詞 由井虎夫 ■作曲 江口夜詩

- 一、東金峰 甲武信岳  
西にハケ嶺 そびえ立ち  
四季の眺も とりどり  
飛ぶ雲に さえ風情あり
- 二、白樺茂れる野に山に  
小鳥の声はにぎやかに  
草摘む人の群れいくつ  
霞む彼方に消えて行く
- 三、若者もゆる牧場には  
仔づれの馬のむつまじく  
風は梢を吹き渡り  
暑さを知らぬ仙境よ



川上村マスコットキャラクター

レタ助

【年齢】8歳  
【性別】男の子  
【住所】千曲川源流のふもとにある  
レタス畑



昭和32年頃 白菜を積載したトラック



明治の原の二本松



大正時代御所平の貯木場



昭和の戦前梓山家並み

明治22年4月1日、町村制発布のもとに8つの村が合併。かつて「陸の孤島」とよばれ、暮らしはとてもしばいものでした。しかし、戦後、村は大きく変わり、今ではレタス生産量日本一の村となりました。明治、大正、昭和、平成四代にわたる川上村の歴史には、村民にとって忘れることのできない思い出が刻まれています。この歴史から、先人たちの当時の熱い息吹が伝わってきます。

# 歩んで 136年

- 【明治】
- 22年 町村制施行、川端下村・梓山村・秋山村・居倉村・大深山村・原村・御所平村・大明村のうち樋沢組を合併して川上村となる
- 24年 区制実施  
各大字を1区とし、各区に区長及びその代理者を配置した
- 34年 原に川上郵便局が開設される
- 【大正】
- 10年 各地区に婦人会ができる
- 【昭和】
- 2年 梓山に大火発生、18戸31棟全焼
- 3年 川上村初の野球チーム「金峰クラブ」と「居倉クラブ」が誕生
- 8年 販売向けとして、白菜の栽培がはじまる  
大深山遺跡が発見される
- 9年 「川上村部落有財産統一追加協定」が締結各地区に林野保護組合が設立される
- 10年 初めて汽車が入る。川上一海ノ口間が開通される  
白菜出荷が川上駅から大阪市場に行わるようになる
- 20年 川上村青年団発足。
- 22年 新しい六・三制の川上中学校が発足。川上第二中学校が新設
- 23年 川上村森林組合が設立される
- 24年 青年団が「川上小唄」を披露
- 27年 川上村公民館発足
- 30年 進駐軍用のレタスの契約栽培がはじまる
- 35年 川上村商工会が設立される
- 37年 川上村役場庁舎が落成
- 39年 第1回村民運動会が開催される  
梓湖ダムが完成
- 41年 大深山遺跡が国の指定史跡となる
- 43年 川上第一保育園が竣工
- 48年 川上第一中学校、第二中学校が統合される  
川上第二保育園が竣工

- 川上村が「朝日農業賞」を受賞  
村営小川牧場が開設、第1回山菜まつりが開催される  
南部消防署川上分遣所が開設
- 49年 川上村福祉センターが落成
- 53年 川上中学校卓球部が県大会優勝
- 54年 第一小学校竣工  
川上村役場落成
- 55年 村民体育館竣工
- 57年 村営バスの運行はじまる
- 57・58年 台風による災害
- 58年 第二小学校校舎完成  
南佐久南部森林組合が発足  
小川牧場で長野県植樹祭  
川上犬が県天然記念物に指定される
- 60年 日航123便ジャンボ機が群馬県御巢鷹山に墜落  
川上村が救援基地となり、救助活動に貢献する
- 61年 川上中学校スケート部女子が全国中学校大会(学校対抗)で初優勝
- 62年 千曲源流太鼓が創作される
- 63年 村営テレビ「KCV5チャンネル」が開局  
アメリカワトソンビル市と姉妹都市提携を結ぶ  
国民健康保健「川上村診療所」竣工
- 【平成】
- 7年 川上村農村総合文化センターが竣工
- 10年 ヘルシーパーク川上中央棟竣工
- 14年 ソルトレイクで開催された冬季オリンピックに中嶋敬春選手が出場
- 20年 木造の川上中学校が建設される
- 25年 マスコットキャラクター「レタ助」誕生
- 26年 豪雪災害  
ソチで開催された冬季オリンピックに山中大地選手が出場
- 27年 油井亀美也宇宙飛行士が国際宇宙ステーション第44次/第45次長期滞在クルーとして約142日間滞在。その間、川上中学校で地元児童・生徒たちと交信イベントが行われる。
- 28年 かわかみ保育園・子育て支援センター「きらきら」が開園。  
第25回全国消防操法大会で大深山分団が準優勝。
- 29年 沖縄県恩納村と友好都市提携を結ぶ
- 【令和】
- 5年 川上村役場新庁舎・交流防災センター開庁
- 6年 千曲川左岸道路全線開通



昭和63年 米国ワトソンビル市との姉妹都市提携



昭和33年頃 高原野菜の出荷風景



昭和43年頃 川上村が「朝日農業賞」を受賞



昭和57年 村営バスの運行はじまる



昭和57・58年 台風による河川の被害(梓山)



昭和63年 村営テレビ「KCV5チャンネル」が開局



平成27年 油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信イベント

# 川上村の沿革

## 位置と地勢

川上村は長野県の最東端。山梨、埼玉、群馬の三県と隣接し、東西23km、南北16km、総面積209.61km。北の村境から、東南の村境にかけて男山、天狗山、甲武信ヶ岳、国師ヶ岳、金峰山など秩父多摩甲斐国立公園の主峰がそびえ、村落の中心を東西に千曲川が流れています。全国的に名高い高原野菜の一大産地です。

## 沿革

歴史は古く、旧石器時代の遺跡や縄文時代中期の大深山遺跡(国指定史跡)があり、中世には武田氏の勢力下で金を採掘、江戸時代には天領として幕府の直轄支配を受けました。明治22年町村制施行により、川端下、梓山、秋山、居倉、大深山、原、御所平の7ヶ村と大明村の内樋沢を編入して川上村となり現在に至っています。

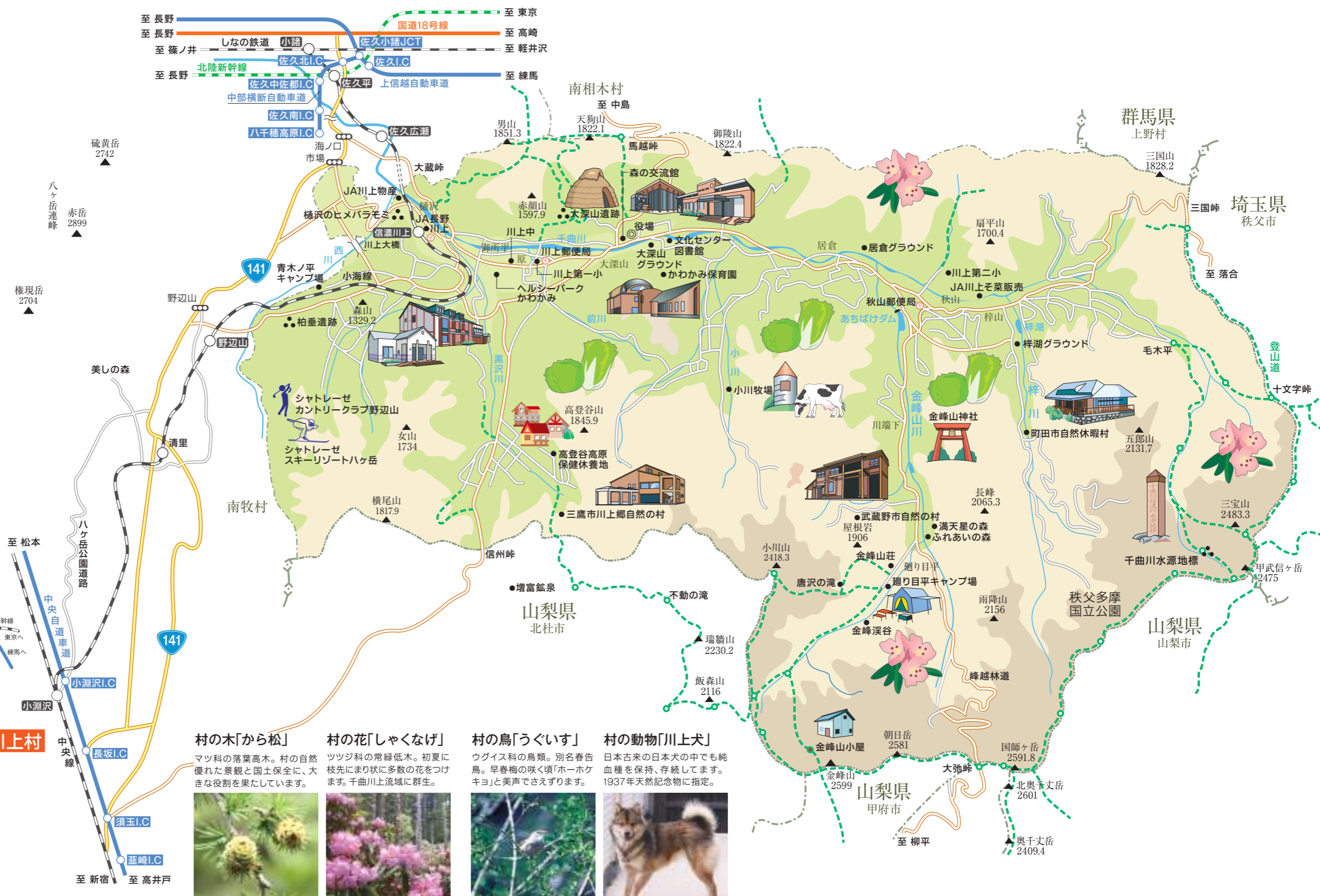
## 位置と面積

- 【東西】 23.0km
- 【南北】 15.7km
- 【面積】 209.61km<sup>2</sup>
- 【役場所在地】 長野県南佐久郡川上村大字大深山525番地
- 東経 138°34'54"
- 北緯 35°58'19"
- 標高 1,185m (航空測量による)
- 【最高地】 2,599m(金峰山山頂)
- 【最低地】 1,110m (千曲川村内最下流、河川敷)

## 気象観測記録

[資料: 農業気象観測システム 観測地点: 役場 平成28年度]

月	気温 (°C)			降水量
	平均	最高	最低	
1	-3.1	13.9	-20.5	46.0
2	-1.4	16.5	-14.7	52.0
3	2.4	18.2	-9.7	56.5
4	9.8	23.5	-6.4	45.2
5	14.8	26.8	2.8	46.5
6	16.7	26.9	1.2	139.5
7	21.0	31.3	13.1	66.5
8	21.0	30.5	9.6	220.0
9	18.3	29.2	9.9	203.5
10	11.8	25.1	-0.5	50.5
11	4.6	16.4	-9.9	55.0
12	0.6	15.9	-12.2	81.5
計	-	-	-	1062.7
平均	9.7	-	-	-



### 村の木「から松」

マツ科の落葉高木。村の自然優れた景観と国土保全に、大きな役割を果たしています。



### 村の花「しゃくなげ」

ツツジ科の常緑低木。初夏に枝先にまり状に多数の花をつけ、千曲川上流域に群生。



### 村の鳥「うぐいす」

ウグイス科の鳥類。別名春告鳥。早春梅の咲く頃「ホーホケキョ」と美声でさえずります。1937年天然記念物に指定。



### 村の動物「川上犬」

日本古来の日本犬の中でも純血種を保持、存続しています。1937年天然記念物に指定。



## 広がる地域間交流の輪

東京都町田市、武蔵野市、三鷹市など都市部の保養施設を通して、地域間交流の輪が広がっています。



東京都町田市自然休暇村



東京都武蔵野市自然の村



東京都三鷹市川上郷自然の村